



—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 白沢トンネル開通……………2
- 今年の町功労者……………3
- 農業委員が調べた東由利の結婚事情…4・5
- まちの話題……………6・7
- みんなのひろば……………8・9



白沢トンネル開通記念パレード
(10/22・東由利町側)

広報

冬も通れます“白沢峠”
トンネル化し10月22日開通

長年の念願だった大森町と本町を結ぶ白沢峠の道路整備が、トンネル化されてこのほどりっぱに完成。10月22日には開通式や記念パレードが行われました。この完成によって冬期間も車の通行が可能となるなど、大森町と東由利町の交流をはじめ産業、文化の発展に大きな期待がもたれます。（記事2面に掲載）

11月

ひがしゆり

No.392

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）

主要地方道 神岡坂部横渡線 白沢トンネル開通

開通を祝うテープカット。後方が白沢トンネル

県道神岡・坂部・横渡線の大森町と本町を結ぶ「白沢トンネル」が、十月二十二日に開通しました。

この開通により、冬期交通が確保されたことと、坂部・横渡間の所要時間が四分の一に短縮され、大森町と東由利町の交流が促進されるほか、出羽丘陵と観光開発にも寄与するものと期待されます。



(大森町側)

同路線は、仙北郡神岡町を起点とし、南外村、大内町、大森町を通って本町横渡に至る延長三十五キロの主要地方道ですが、大森町と本町を結ぶ白沢峠は冬期間以外でも小型車の通行がやつという、幅二メートル余りの曲線形で急勾配の道路でした。

このため、県が昭和五十二年から改良工事を中の沢工区と坂部工区に分け、中の沢工区から着手、同工区を五十七年に完成させその後トンネルの開設を含む坂部工区に着手し、このたび完成したものです。

同事業で改良された道路幅六メートルに拡幅され全面

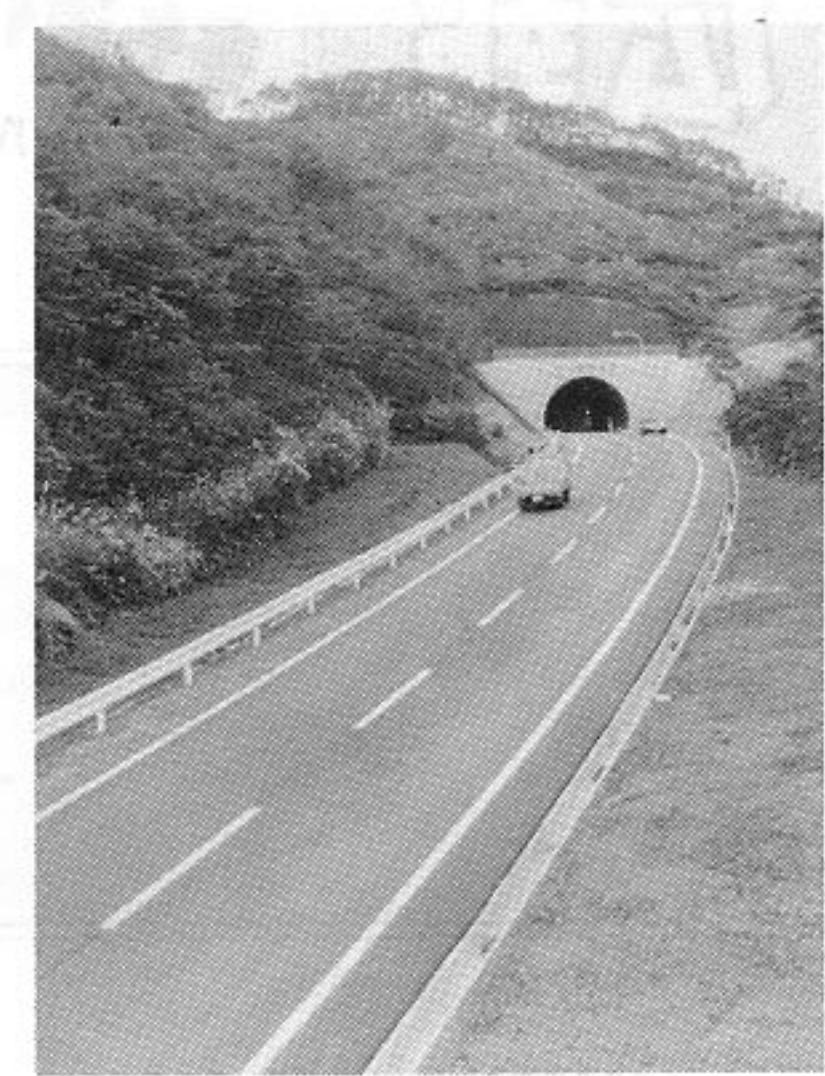
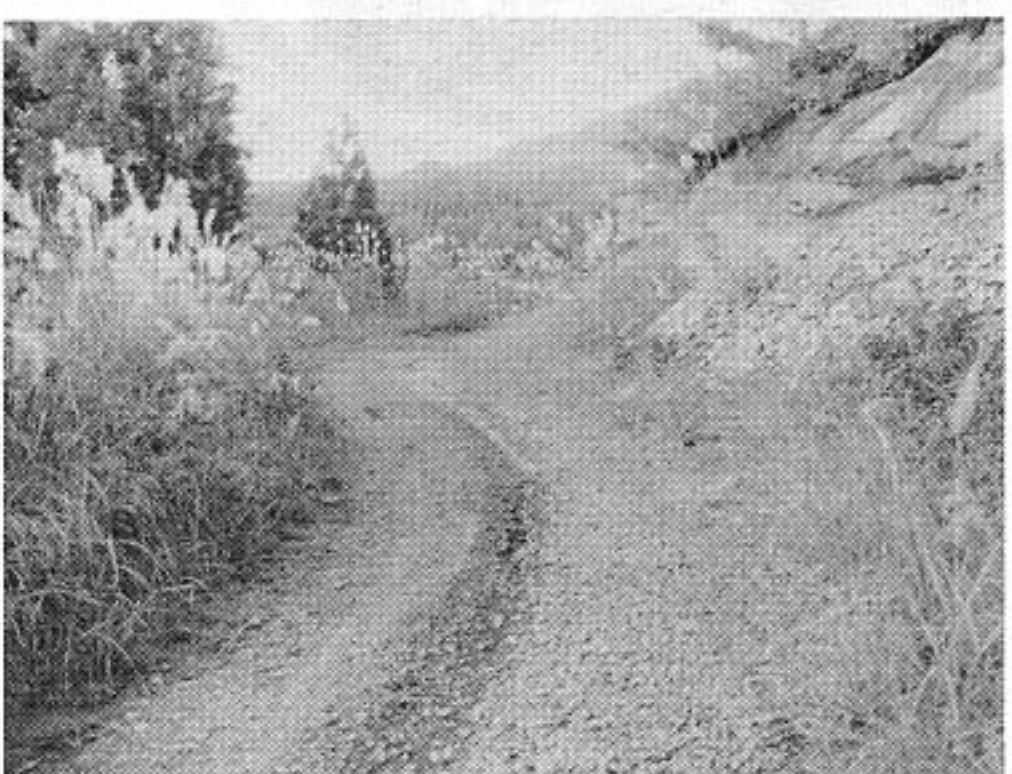
が舗装されました。このうち白沢峠道は高さ四・七メートル、延長二百五十メートルにトンネル化されました。総事業費は中の沢工区、坂部工区合計で十三億三千七百万円となっています。

この完成により、坂部から横渡の国道一〇七号線までは十分程度で往来でき、これまでの大内町経由で約四十分かかっていた

坂部・横渡間が10分に

ころに比べると約四分の一の短縮となりました。

(下・東由利町側)



150人が出席して行われた開通式(有鄰館)

開通式、祝賀会は午後一時から行われ、百五十人余りの出席者が白沢トンネルの開通を祝い合いました。同式典などに用地関係者として出席した遠藤時男さん(小倉)は「坂部と法内は昔から交流が盛んだった。交通の便がよくなつたことで今後ますます交流が深まり、嫁・婿問題にも良い結果が生れてくれればいい」と、トンネルの開通を喜び話していました。

今年の町功労者に、前教育委員長佐藤松之助氏、医師小松真悦氏、僧侶阿部寅静氏の3氏が決まりました。3氏は10月17日に行われた選考委員会で選ばれたもので、表彰式は11月3日午前11時30分から有鄰館で行われます。



阿部 寅静氏・73歳

蔵字藏100番地の1



小松 真悦氏・67歳

老方字老方14番地



佐藤松之助氏・79歳

館合字滝の沢55番地

今年の 町功労者

佐藤、小松、阿部の3氏に

11月3日有鄰館で表彰式

学校統合や教育 施設整備などに貢献

昭和十七年に旧玉米村玉米国民学校教頭として奉職以来二十四年間本町学校教育の振興にくされ、この間蔵小学校長、玉米中学校長を歴任。また、退職

後の昭和四十二年からは村教育委員の任命を受け同四十三年には同委員長に就任、学校統合や教育施設の整備充実など、本町の教育振興に多大の貢献をなされました。また、昭和五十九年からは本荘市由利郡教育委員会連絡協議会副会長としても活躍、本年春の叙勲では勲五等双光旭日章を受章なされました。

町議会の議員や町長、助役、収入役を長年にわたって努められた方に贈られる東由利町自治功労章が、このほど前収入役の小野丹左衛門（69歳・大琴）に贈られました。

小野氏は昭和五十年に町

医療を通じ民生の 安定・向上に貢献

昭和二十六年「小松医院」を開設以来今日まで町民の医療業務に従事。この間学校医、国民健康保険運営協議会委員、黒渕診療所長を担われるなど、本町

僻地医療保健に多大の貢献をなされました。また、秋田県医師会、本荘市由利郡医師会の役員を努められるなど、医療を通じて民生の安定と向上に寄与されています。昭和六十一年には厚生大臣より国民健康保険事業功績章を、同六十二年には読売新聞社より僻地診療功労賞を受賞なされました。

収入役に就任、以来三期十二年間にわたり健全な町財政の運営に努め町発展に貢献、今年三月に退任されました。

贈呈式は十一月三日の町功

労者表彰式の席上で行われました。

児童福祉の向上 教育振興などに貢献

昭和三十三年「永慶保育園」を開設以来園長として児童の保育に専念されるかたわら教育委員、公民館長、連合PTA会長、人権擁護委員等多

くの要職を歴任、児童福祉の向上、教育の振興充実に多大の貢献をなされました。また、本荘人権擁護委員協議会長及び秋田県人権擁護委員連合会副会長として現在も活躍中です。昭和五十九年には法務大臣より人権擁護委員永年勤続表彰を、同六十一年には厚生大臣より社会福祉事業功労賞を受賞なされました。

表彰者選考委員 (62年度・敬称略)



小野丹左衛門氏

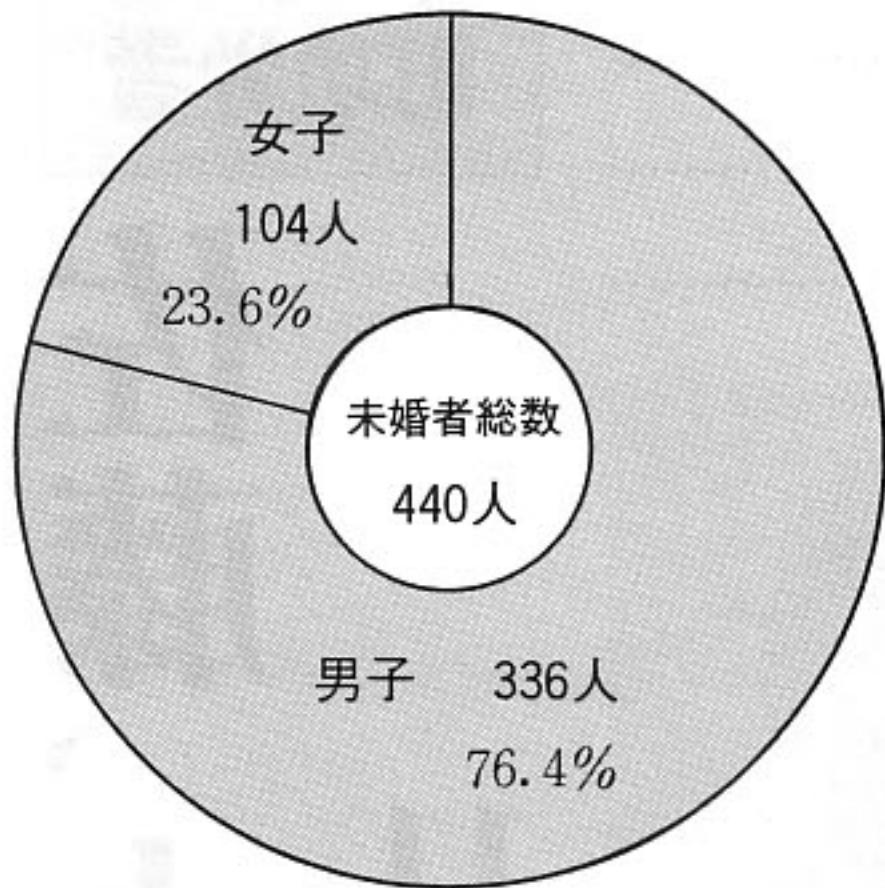
●自治功労章贈呈●

前収入役の
小野丹左衛門氏に

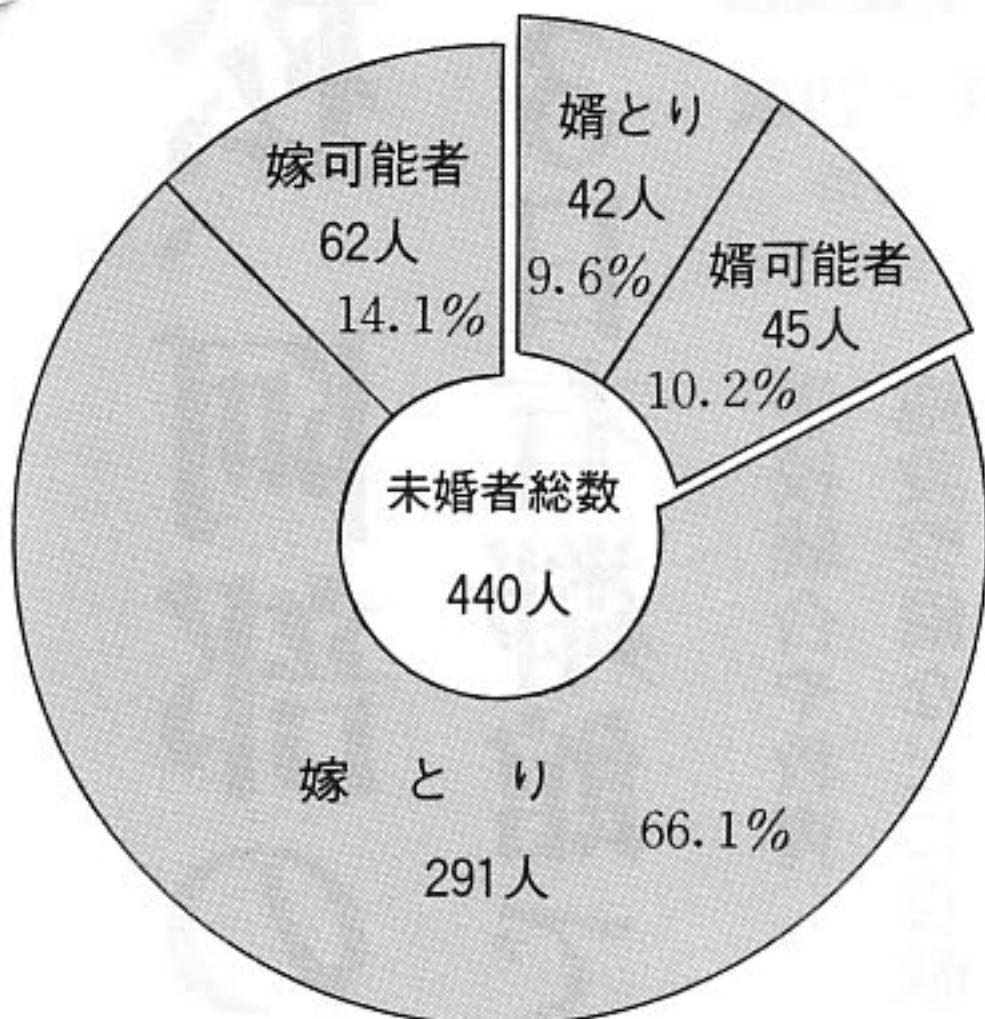
嫁つてこ1人に婿5人

研究の成果を公開 へき地教育公開研究会を開催

図・1 未婚者数調べ(20~39歳)
(農業委員会農業振興部会・9月調査)



図・2 未婚者形態別調べ(20~39歳)
(農業委員会農業振興部会・9月調査)



六月一日発行の「広報ひがしゆり」(6月号)で、町内未婚者の調査結果をお知らせしましたが、その後町農業委員会の農業振興部会(遠藤平輔部会長・七人)でも独自の調査を行いました。これは、部会員が分担し、地域ごと聞き取りにより未婚者の実態を調査したもので、当広報担当が住民基本台帳を基にコンピュータで出した数字よりも、より現状に近い数字と思われます。そこで、今号ではその調査結果と、同部会が平行して行つた「結婚の意識調査」を紹介します。

調査から、二十歳以上三十九歳までの未婚者は四百四十人で、男子が三百三十六人、女子が百四人となっており、これを嫁・思われる人(以下嫁・婿可能者)と思われる人(以下嫁・婿可能者)

婿を迎えることなどは、嫁とり四十二人に対して嫁可能者は四十五人と、婿とりで悩んでいる人にとっては期待の持っています。なお、三十歳以上の未婚者割合は、当広報担当の調査と同じく全体の三〇パーセントで百三十三人でした。

「意識調査」は30セグドの回収率

同調査と平行し、同部会では二十四歳以上四十歳までの未婚

全校活動では「高瀬の秋」と題して低・中・高学年ごとに合唱や寸劇が発表され、地域性に富みユーモアのまじった演技は参観者から賞賛を浴びました。

郷土芸能では地元法内の伝統ある獅子舞が披露され、新処獅子舞い保存会の熱演に参観者は真剣なまなざしで見入っていました。

昼食後、全体会では開会行事が行われ、県教育委員会の代表など来賓のあいさつのある町助役が祝辞を述べました。

研究協議では研究主任の斎藤光正教諭が研究の経過を報告しました。

に分けると図のようになります。

これによると、嫁とり二百九十一人に対して嫁可能者は六十二人で、嫁一人に婿五人という

厳しい割合となつていて、反面、嫁とり四十二人に対して嫁可能者は四十五人と、婿とりで悩んでいる人にとっては期待の持っています。なお、三十歳以上の未婚者割合は、当広報担当の調査と同じく全体の三〇パーセントで百三十三人でした。

公開研究会は、公開授業、

全校活動、郷土芸能、全体会、

研究協議などのプログラムに沿つて行われました。

公開授業は午前九時三十分

から四十五分間行われ、学年ごとにテーマにもとづく授業が各担任の教師によつて、多数の参観者が見守る中で繰り広げられました。

全校活動では「高瀬の秋」と題して低・中・高学年ごとに合唱や寸劇が発表され、地域性に富みユーモアのまじつた演技は参観者から賞賛を浴びました。

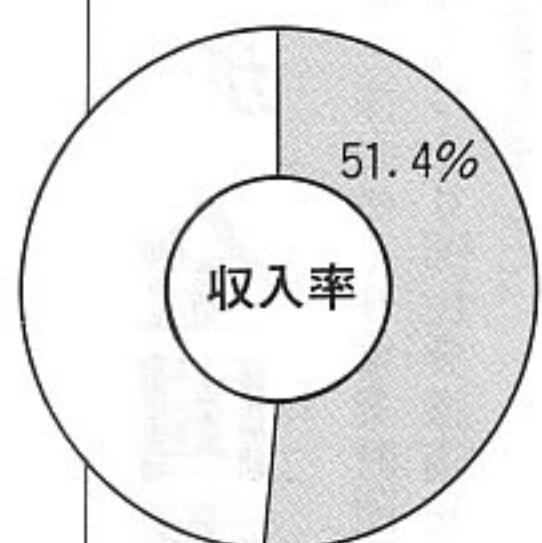
閉会式で、県教育委員会義務教育課の片倉主席課長補佐は「へき地」という恵まれない環境のなか、先生たちの力をあわせた研究の成果は授業や全校活動によく現われており、すばらしい研究会でした。今後も県下へき地校の活性化のために模範となつた教育活動を続けてください」と講評を述べ、二カ年度にわたつた研究活動に幕がありました。



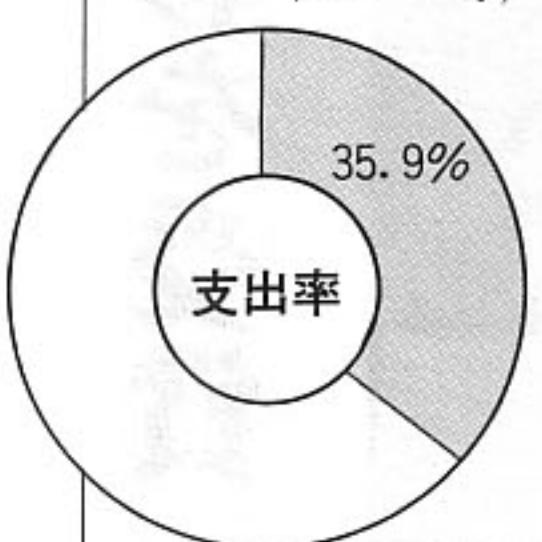
まちの財政

昭和62年度一般会計 上半期財政報告
(4~9月)

●一般会計収入率
(4~9月)



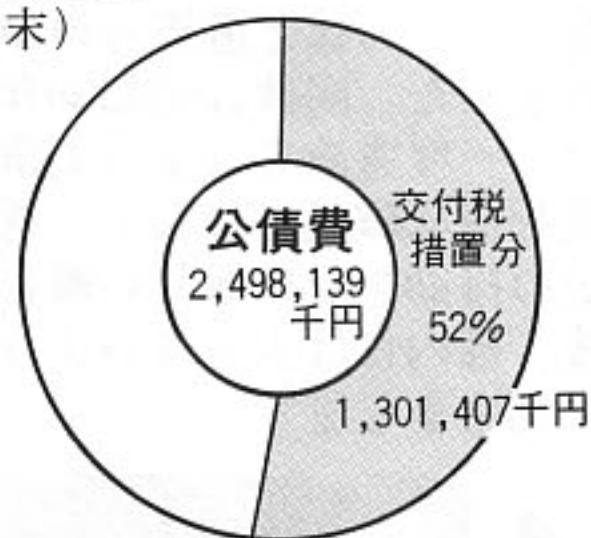
●一般会計支出率
(4~9月)



●一般会計収入・支出済額 (4~9月)

収入済額	1,236,870千円
収入予算現額	2,405,812千円
支出予算現額	
支出済額	864,021千円

●公債費(借入金)の現在高
(9月末)



●町の財産 (9月末)

土地	11,665,611m ²
建物	30,175m ²
有価証券	308千円
自動車等	55台
基 金	436,504千円

（5）

者二百七人を対象に、郵送による「結婚の意識調査」を行いました。この調査は質問が四項目という簡単なものでした。回収率はわずか三〇%と低く、これについて同部会では「回収率が低く残念なところもあるが、未婚者の素直な気持ちを少しでも把握できた」としています。

回答者六十二人中「結婚相手がまだ決まっていない」五十二人が「まだ決まっていない」と答えていました。また、相手の他のほとんどは学歴は問わないと答えています。また、相手のセイバが高卒以上の学歴を希望、その他のほとんどは学歴は問わないと答えています。

職業について八〇%が「問わない」、二〇%が「勤め人」「農業」と答え、こうした結果から、学歴も職業も問わないから早く伴侶を：という切実な願望も伺えそうです。

昨今注目を浴びている国際結婚については、賛成と答えた三三人のうち十七人が「自分の相手として考えて良い」、十四人が「わからない」と答えていました。

同部会では、農業後継者育成の面から、調査結果から浮き彫りにされた嫁不足を重大な結婚問題としてとらえ、現在、町内の未婚者を抽出した「後継者台帳」を資料として整備し、解消策を検討中です。

また国際結婚については、「実際に進めるべきだ」とし、町民施町村の現状を調査した上で慎重に進めるべきだ」とし、町民からの率直な意見をつけることにしています。国際結婚を含め結婚問題についてのご意見、ご要望をぜひ町農業委員会（事務局 69-2110・内線64番）までお寄せください。

した。賛成で自分の相手としても良いという方と、反対の方の意見を別に紹介させていただきました。

結婚問題に対し皆さんのご意見を！

教育委員長に小松氏



小松昌樹氏

町教育委員会の佐藤松之助委員長が、十月十九日の任期満了をもって勇退されました。小松氏は昭和四十七年東由利村教育委員に就任、五年には委員長職務代理者に就任するなど、今後、豊富な経験を活かした活躍が期待されます。



佐藤松之助氏

このため同委員会では二十日、会議を開き、後任にこれまで同職務代理者を務めてこられた小松昌樹氏（八日町・64歳）を互選しました。小松氏は昭和四十七年東由利村教育委員に就任、五年には委員長職務代理者に就任するなど、今後、豊富な経験を活かした活躍が期待されます。



まちの話題

みなさんの地域の、話題、出来事などお知らせください。必ず取材にでかけます。めずらしいことやおもしろいことは新聞やテレビに紹介します。（広報係）

町教育委員会では昭和60年、「体力つくり東由利町民会議」を設置し、町民の健康・体力つくりを目的としたスポーツ等の振興に努めてきましたが、「冬季間や農繁期における運動不足解消のため学校体育施設を開放するとともに、多彩なプログラムを提供し健康・体力つくりを推進してきた」と、これまでの実績が評価され、このほど（財）

東由利町民会議

が

全国表彰を受賞

健康・体力つくり事業財団から「体力つくり国民会議議長賞」を受賞しました。

同賞は、内閣総理大臣賞、総務省長官賞に次ぐもので、全国受賞12団体の中に選ばれたものです。受賞式は9月26、27日島根県大田市で開かれた「健康・体力つくり運動推進全国大会」の席上で行われ、畠山昭一教育長が出席し表彰を受けました。

表彰状と盾を手にする教育委員会畠山教育長（右）と工藤主任（左）



商工会青年部

「はたちの門出」祝う 講演会、ディナーショーも開催

今年創立20周年を迎えた町商工会青年部（佐藤知泰部長）では10月10日有鄰館で記念式典を開き、会員はじめ百人余りが「はたちの誕生年」を祝いました。

また午後からは第2部として、部員相互の学習の場と併せ一般にも開放した「記念講演会」を開催、福島大学の下平尾勲教授による「地域づくり、特産品づくり、人づくり」と題した講演に今後の町づくりを模索し合いました。そして第3部では「祝賀パーティ」を開き、セレモニーのあとNHK総合テレビ「おーい、はに丸」でおなじみの歌手・佐々木襄さんはじめラテン、演歌など3人の歌手を迎えた「ディナーショー」で「はたちの門出」を行くまで祝い合いました。

同青年部はこれまで、町案内板の設置、町立体図の作成、「泥かぶら」の公演、交通安全塔の建設などのほか、町の一大イベント「雪まつり」や「黄桜まつり」の草分けをなすなど、町活性化に一丸となつて取り組んでおり、今後の活躍にも大きな期待が寄せられるところです。

消えたかな！
気になるあの火もう一度

秋の火災予防運動実施中（11/1～11/7）



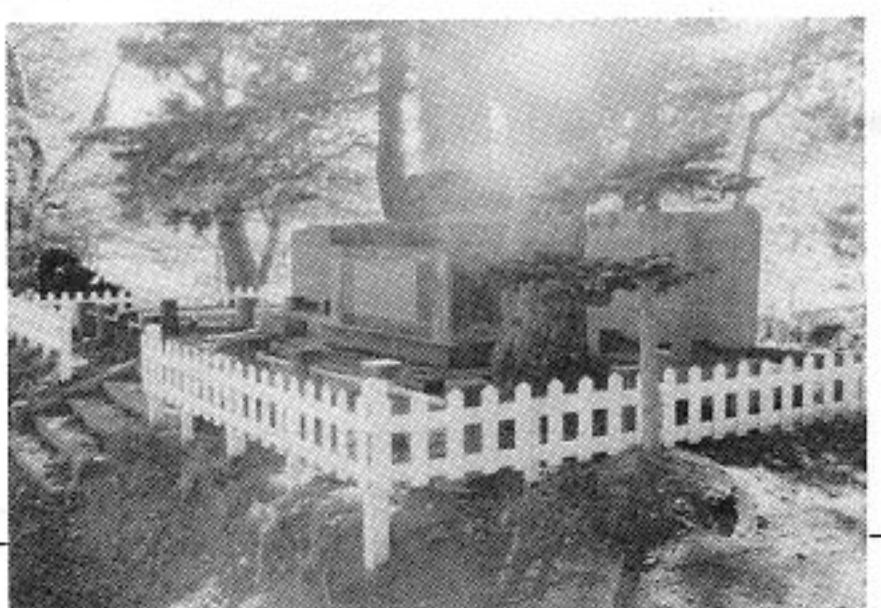
大日向悦子さん

本町母子福祉会々長の大日向悦子さん（宮前）が、母子福祉会員として長年積極的な自立更生に励み、子女を心身共に健やかに養育してきたとして、このほど社団法人秋田県母子寡婦福祉会連合会長から表彰されました。大日向さんは、昭和55年から本町母子福祉会々長として、また今年からは本荘市由利郡母子福祉会副会長として活躍されています。

母子福祉に積極的に貢献 大日向さんが連合会長表彰を受賞

本町の戦没者312人を慰靈した「殉国の碑」を囲む柵が、このほど遺族らの奉仕により美しく整備されました。同碑は昭和39年に建立されたもので、年に一度遺族らによって清掃されていますが、碑を囲む柵は破損が激しく、遺族らが町社会福祉協議会の援助を受け新しい柵に整備したものです。今後、柵内には入らないよう、「殉国の碑」の保全に努めましょう。

遺族らの奉仕で美しく整備された「殉国の碑」柵



随
町
想
長

日中友好の旅を終えて

今年は日中友好十五周年。秋田県と中国甘肅省の友好提携五周年の意義深い年。

このたび中国の招きにより、佐々木知事以下十五名による「秋田県地方行政交流団」が組織され、訪中親善の役割を果たす機会に恵まれた。町村長代表（五名）として、中国事情を見聞する機会に恵まれたことを幸せに思う。

九月二十九日からの二週間は私にとつて生のままの中国の実情にふれることのできる有意義な国際研修の場であり、得がたい親善の旅であった。

機中、「人民日報」に目を通すと、日中友好

十五周年にあたり、孫平化中国友好協会長のとばが載せられていた。「『言必信行必果』——これは周恩来首相が、田中元首相に手渡した色紙のことばであり、「言ったことは必ず守り、行えば必ず成果をあげる」という意味のことばであり、これを引用して——「中日友好は押しとどめるのできない歴史的な大きな流れであり、両国人民はもとより、世界人民もその後退を望んでいない」と。この度の旅は、このことばの実現の旅でもあった。

限られた二週間。できるだけ、中国事情を正しく認識することに努め、友好・親善交流の役割を十二分に果たすことにしてよう。そう心がけて視察し研修した。結論は、近代化が進む中國の実態は、私どもが考えていた中國とはかな

地区住民の協力で避難訓練実施

東光苑

町特別養護老人ホーム「東光苑」で、このほどはじめて夜間の火災を想定した避難訓練が行われました。午後6時に非常ベルが作動、一一九番通報の後、帰宅した職員を電話で呼び出すなど本番さながらの手順で行われたもので、地区の婦人会や住民20人余り地区の婦人会や住民20人余りも応援にかけつけました。

訓練の中では、寮母や地区の方たちが手際よく入居者のベットや車椅子を搬出、約10分後には全員が無事避難し訓練が終了しました。

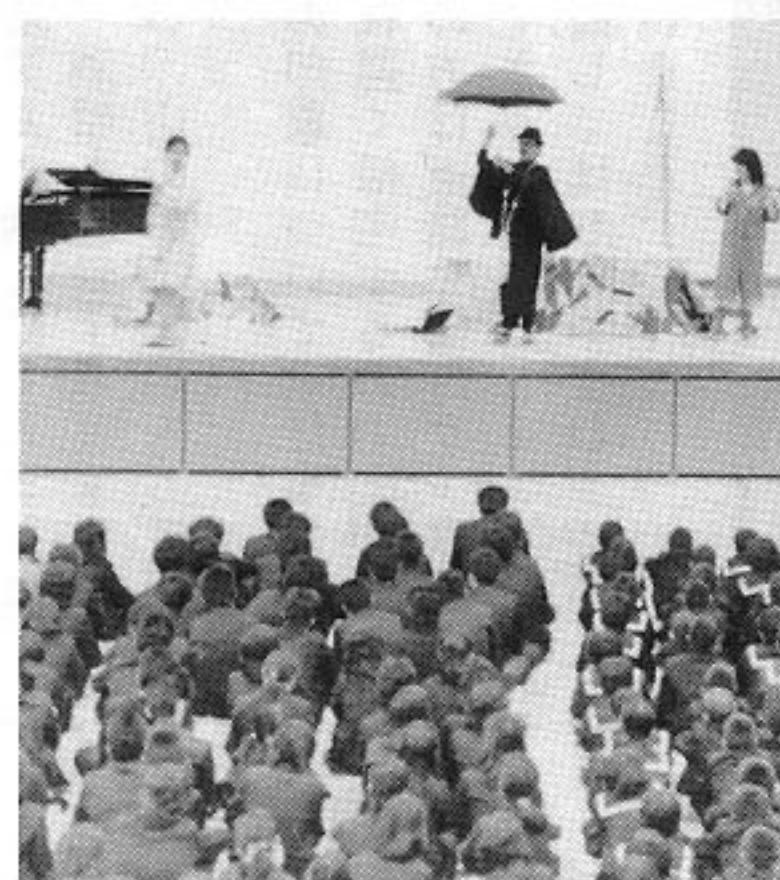
訓練を終え職員たちは「地区の方々の協力があり良かった」「消火器を思うように操作できなかつた」「サイレンなど地区への連絡器材が欲しい」などの反省点を出し合つていきました。



手際よい入居者の避難が行われた東光苑の避難訓練 (10/12)

オペラのとりこに

青少年劇場を開催



オペラ「バスティアンとバステイエンヌ」を観賞した青少年劇場

青少年に本物の芸術を見聞させすることで感動する心豊かな人間性を育みたいと、町教育委員会が7年前から行っている「青少年劇場」が今年も10月12日健康増進センターで開かれ「ボーカルコンサート」と「オペラ」を町内小・中学生及び高校生など3百人が観賞しました。出演者は日本の代表的なオペラ歌手岡山宏幸(バス)、五十嵐郁子(ソプラノ)、牧川修一(テノール)で、「待ちぼうけ」「ノミのうた」など7曲を独唱したあとオペラで「バスティアンとバステイエンヌ」を上演。親しみやすく美しい音楽に日ごろオペラにはなじみの薄い児童・生徒らもすっかりとりこになっていたようでした。

り違う、新しい中国の息吹を感じられ、都市に農村に近代化の波、解放政策がかなりの速度でエネルギーに進んでいることに、ある種の驚きを感じたことである。

北京市天安門広場にある人民大会堂で行われた、日中友好十五周年記念レセプションに特別招待を受けたが、その席上で中国代表のあいさつが胸を打つ。「水を飲むときに井戸を掘つた人を忘れてはならない」と周恩来のことばを引用し、日中友好を切り開いた田中元首相らを限りなく讃えたことばであった。

北京→蘭州→敦煌→酒泉→蘭州→西安→上海のコース順による旅。どこの都市でも、心からの歓迎ともてなしを受けた。「友遠方よりきたる：また楽しからずや」のことばを引用していさつを受けたときは、胸にジーンとくるものがあった。

走る車の多くは、日産、トヨタ、三菱のマークが目立ち、農家の屋上にもテレビのアンテナが立ち並び、人気のあるテレビは、東芝、サンヨー、ナショナル、日立など日本製テレビといふ。どこのホテルの売店に行つても、フジカラーフィルムが売られている。確かに日本に比べて、日常生活文化度は遅れているかも知れないが、日中友好による十五年間の日本文化の影響は、中国文化に大きく貢献していることが誰の目にもよく映る。

さて、朝日新聞社北京支局長斧泰彦氏は、十月二日付記事「日中復交十五年」で「一の中は十五年間体制やイデオロギーの違いを越えて共生の結びつきを深めてきた。十五年間の復交は、アジアの冷戦構造を解消する極めて大きな歩となつた。むろん十五年間にはいくつかの波もあつたが、復交の実りも大きかつた——長い目で両国関係をはぐくみ——一步づつ相互理解と互信頼を重ねていく。相互理解に終点はない」とこう結ばれていたが、まさにそのとおりである。

みんなのひろばは、みなさんに登場していただくページです。

ヤングレポート、わかれ農業人、お母さんの生活日記、お達者くらぶなど、自薦、他薦でも結構ですので、広報係までお知らせください。

「町民になりました よろしく」

小野浩美さん
(高屋・22歳)



「結婚には両親が大反対でしたがが」

「実は、一人つ子でしたが嫁さんになつて來たんですよ。でも実家は近いですし、今も毎日実家に通つて働いています」と話す浩美さんは、今年七月由利町の鮎川から、高屋の小野誠さんと嫁ぎ町民になりました。小野誠さんは、実家のそばの建設会社に誠さんとで知り合い、「結婚には両親が大反対でした」と

が大反対でしたが、今では両親の理解も得られ、孫の誕生を首長くして待つてくれています」とほほ笑んで話してくれました。現在、酒屋を経営する実家に毎日通い、店のお手伝いをしていました。町の印象について「仕事の都合で夜遅く帰宅するのですが、高屋の方は道路に街灯が少なく、暗くてさみしい気がします」「早く整備してほしいですね」と話していました。

食 管 立ち向かえる稻作を!

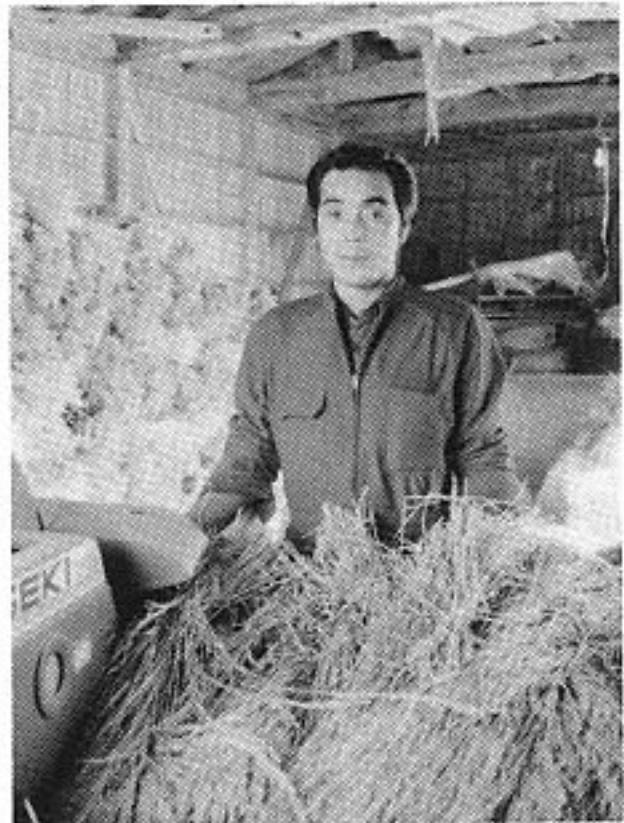
工藤さんは、高校卒業後農業後継者としてすぐ農業を実践し、今年で十九年目になります。経営内容は、水田約三㌶と繁殖牛三頭で、このほか今年は転作面積の増加による減収分をカバーしようと仲間五人でダイコンを栽培、予想以上の収益がつたと喜んでいました。

農業の主体はやはり稻作で、消費者のあいだで人気急上昇中の「あきたこまち」など良質米

を中心と作付けし、昨年は十㌶を栽培、予想以上の収益がつたと喜んでいました。工藤さんは「高冷地帯の高村で高収量をあげることができるのも、稻作研究会で技術を学んでいるためで、それまでは十五百㌘にも満たなかつた。それに、会員のほとんどは平地で七百㌘前後の収量をあげ、八百㌘を超している会員もいる」

わかれ農業人

工藤真市さん
(37歳・高村)



みんなの ひろば

わたしのおかあさん
5さい・えいけい保育園



ちびっこ

— テーマ —
「こんな町に
なつたらいいな」



小松まもりさん
八塩小・3年

わたしは、東由利町のみんなが、友だちのように会う人どうし、あいさつをするようになればいいなと思いました。それは、同じ町に住んでいるから、みんなでなかよくくらしていきたいからです。

それに、町の中にごみをすべてないで、きれいな町になればいいです。それは、きれいな町の方がはじめてきた人だってすっきりするし、町の人たちみんなだって気持ちよくすごせると思います。

それから、町の人たちがだれでも交通事故にあわないといいです。事故にあうと、みんなが悲しい思いをしてしまいます。

わたしは、この三つを町の人みんなが守ってくれればいいと思います。



遠藤莊二郎さん



渡辺秋雄さん



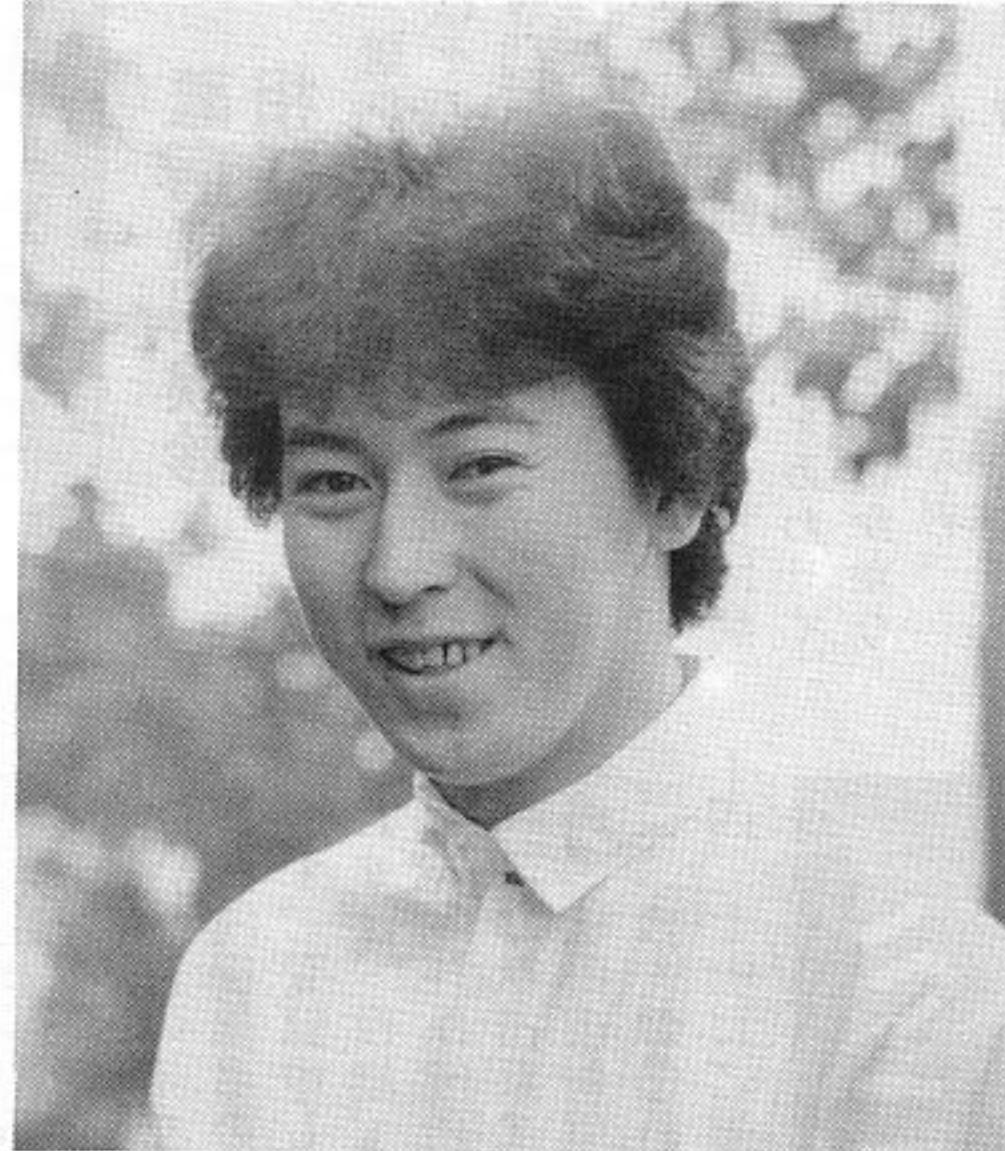
遠藤聚一さん

出稼ぎ就労者・留守家族のみなさん 「出稼ぎで困つたことは、相談ください」

今年も出稼ぎの季節が到来し、今月半ばには出稼ぎを予定しているほとんどの方が就労先に向かわることと思います。町では、出稼ぎ就労者の安全

や事故対策に資するため三人の出稼ぎ相談員を設置していますが、同相談員は出稼ぎ就労者本人の相談を受けるだけでなく、留守をあずかる家族が困つたと

きなども親身になつて相談を受け、すみやかな解決のお手伝いをします。相談ごとがあつたときは遠慮しないで、お近くの相談員までご連絡ください。



佐々木 興くん・大琴
21歳・日出夫さん長男

ヤングレポート

(42)

六十年本荘高校卒業と同時に町の誘致企業「秋田信英株」に入社し、以来二年半になる佐々木くんは、先月二十一歳の誕生日を迎え、現在同会社の第一工場でメンテナンス（機械の管理・保全）の重要なポストにますます精を出してがんばっています。

家族は両親、第二人、祖母の

年齢差があり、家庭では「良き兄貴」としての役割を担っています。「他人に迷惑をかけないほどに、自由に生きていきたい」と自分の目で見てみたい。

町への要望は：

先日、鳥海町の「法体の滝」になべつこ遠足に行つてきましたが、整備されとてもすばらしいところでした。東由利でも八塩山などをもつと整備すれば、町民のいこいの場となるだけではなく、観光客の誘致にもつながると思います。

気分が良ければ、一晩でボトルを空にしてしまうという「酒豪」の佐々木くんでした。

と、町稻作研究会の実績を誇っていました。今年四月から工藤さんはこの稻作研究会の会長を務め、多くの仲間とともに良質米多収穫の研究と実践をしており、「いずれ食管制度が廃止されることも予想され、これからは質の良いおいしい米づくりが要求されると

ミニバイクも 自賠責保険に 加入しましょう

小さなバイクだからといって事故が小さいとは限りません。最近は、バイクの性能も向上し、重大事故につながりかねません。もし、無保険（無共済）で死傷事故でも起こしたら、賠償額が高額化している今、それこそ大変。そのため、バイクにも普通の自動車と同様、自動車損害賠償責任保険（共済）への加入が義務づけられています。無保険で走ると「六カ月以下の懲役または五万円以下の罰金、さらに違反点数が六点」となり、免許停止処分となります。

ミニバイクには、車検等によるチェックの手段がないため、自賠責保険（共済）への加入や継続契約をつい忘れがちです。そのため、保険への加入率が低く、秋田県の場合、本年三月末現在では、六七・八四パーセントと全国でもワーストIIに甘んじている状態です。

保険料は一年契約で八千円、三年契約でもわずか一万四千五百円。事故が起きたらでは、手遅れです。バイクの自賠責保険（共済）へ加入しましょう。



「お母さんの生活日記」「お達者くらぶ」はお休みします。

思う。そのためには、あきたこまちなど良質米の作付けを進め、他県、他町村に負けない、米産地としての基盤づくりをしていかなければならぬと思う。会を通じて今後その確立のため努力していきたい」と話していました。

62. 11. 1



⑩

私が村を出てからもう三十年。近い月日が流れてしまいました。当時の東由利は、冬は雪が降り続くとバスなどの乗物は何も動かず、重病人が出ると「戸板」に乗せたりして皆で病院まで運んだものです。腸捻転が手遅れになり若くして亡くなつたお父さん：残された奥さんや幼い子供、そしてご老人：今では考えられない悲劇が、当時はやむを得ない出来事として起こつてありました。

「ふるさとが
一層恋しい秋」
佐藤 千恵さん
(館合新田出身・47歳)
ふるさとの皆さんお元気でお過ごしでしょうか。

本荘からのバスが「今日は石沢まで!」「今日は大琴まで来たそうだ」と知らせ合つては、「まだ早いベカ」とりました。



写真右が主人の直嗣(八日町出身)、左が私

待ちに待つた春のおとずれを皆で喜び合つたものです。最近は毎年のように帰省する機会を得ておりますが、そのた

びに整備されゆく我がふるさとに何とも言われない ureしさを感じております。またそれとは裏腹に、思い出の場所が少しづつ消えていくことに一抹の寂しさを感じるのは私だけでしょうか。

縁あつて八日町出身の主人を生涯の伴侶とし日々を暮らしております。「今ごろはハシラギがとれるベナ」「八塩山のなべっこ遠足にはまだ早いベカ」と話しているところに同郷の勝郎(館合新田出身)が来て「坪倉の山でアケビ採りしたつけナア」などと、ふるさと話しに花を咲かせることもしばしばです。

これから冬に向かい、慌ただしい時期を迎えることと思います。ふるさとの皆さまにはぐれも健康にご注意なされ、ご活躍くださるようお祈りいたします。

お住い ▶ 東京都渋谷区本町
六一四二一一 ◇ ◇

難病無料検診と相談会開催

難病でお悩みの方、もしくはその疑いのある方を対象に、専門医が診察し、これから治療と生活についてアドバイスします。また、障害年金、身障者手帳、医療費や生活問題などの専門相談をあわせて行います。費用は一切かかりません。お気軽にどうぞ。

ミニ情報コーナー

行)では、目の不自由な方のために角膜提供者の登録をしています。登録申し込み、問い合わせは、役場、由利福祉事務所、本荘保健所、眼科医院か、(財)秋田県アイバンク事務局・秋田市新屋町字下川原三四三七七にご連絡ください。

国民の理解と認識を深めることが不可欠となっています。このため、消防行政全般に対する国民の理解を深め、国民の防火、防災意識の高揚、

『税を知る週間』は「この社会あなたの税がいきている」をメインテーマに、毎年十一月十一日から一週間実施されます。

この期間、広く国民の皆さんに税のしくみや使い道を十分知つていただき、税に対する理解と信頼を深めてもらえます。

保健婦のヘルスワーク

「いい食生活してますか? 肥満は成人病の予備軍です

保健婦・小松友子

会場 本荘市保健センター
(本荘市出戸町瓦谷地一番地)

日時 十一月八日(日)
午前十時~十一時三十分受付

十一月九日が「一九番番の日」になりました

日の不自由な方にあなたの善意を!

消防は、消火活動はもとより予防、救急、救助、防災など、國民生活に密着した幅広い活動を展開していますが、消防行政の推進にあたつては

ひいては地域ぐるみの防災体制確立のため、救急のダイヤルナンバー「一九」にちなみ十一月九日が「一九番の日」に設定されました。これにより、消防署などを中心に各種催しが行われる予定です。この期間の前後、関係団体等の協力を得て、本荘市主催の「米まつり」を会場に、小学校の展示を行なうほか、各地で租税教室や座談会などを開催することになつています。

この期間の前後、関係団体等の協力を得て、本荘市主催の「米まつり」を会場に、小学校の展示を行なうほか、各地で租税教室や座談会などを開催することになつています。

秋も深まり新米の出廻るこの季節、ご飯のおいしさも格別でついつい食べ過ぎてしまふ人はいないでしょうか。最近、太り過ぎという事に大部関心が持たれるようになつてはきましたが、しばらく見ないでいるうちに、急激に太つたりする人を見かけます。よく話を聞くと、やはり食べ過ぎ、運動不足、男の人であればお酒の飲み過

秋田県アイバンク(眼の銀



若さの秘密

わたしの場合

作家

萩原葉子

レッスンを休むと 体調が狂う

無心で体を動かし 気分転換

心と体の健康は、生活のリズムだと思いますね。

もう、二十年ほども前にな

りますが、健康を害して太り

始めました。

もともと胃腸が弱く、いつ

も不快感があつて疲れやすい

体でした。

「人間は持つて生れた工

ネルギーを余すことなく使い

果たして一生を終わらなくて

は生れてきた甲斐がないのに」

と考え、ダンスを習うことにな

したのです。

はじめは苦しかったのです

が、長く続けていくと、目に

見えて健康になつてきました。

そして、引っ込み思案、人前

恐怖症などからも抜け出すこ

とができるようになりました。

ダンスのリズムが健康を支える

午前中から夕方まで、原稿用紙にむかって、神経を集中

していますから疲れます。その神経の疲れをとるのがジャズダンスで汗を流すことです。

一時間半、ス

タジオで、若い女性たちにまじ

いき合いで、人と話をす

ることが苦手でしたが、それ

もダンスのおかげで積極的に

気分転換になり、落ち込みも

なりました。

若い仲間との会話を楽しむ

ダンスは、夕方の六時から

ごろからレッスンが始まり

ます。そして終わるのが九時

ごろ。終わってからの約一時

間ぐらいが、楽しい時間にな

ります。

いま、病気ひとつありません。

二十代のOLや若いダンス

の仲間たちと、汗を流した後

のビールを楽しみます。アル

前に弱かつた胃腸も、すっかり丈夫になりました。

二十年の間に体にしみこん

できたダンスのリズムが、私

の健康を支えるエネルギーに

なっています。

コールもやつと最近飲める体質になりました。

私は同年代の人たちと話を

することが、あまり好きでは

ありません。気を使うことには

あります。気を使うことには



畠山美由貴ちゃん

智者鶴・8か月

浩さんと
栄子さんの長女



ぎなど、背後に共通したいつかの条件があるようですね。

ご承知のように、肥満は太っている分だけ當時体全体に負荷がかかっており、腰や膝などに負担がかかる一方、糖尿病や心臓病など各種の成人病を招く大きな要因となることが、統計的にも明らかになっています。

よくやせるために朝食を抜くとか、肉は食べないとか、誤った減量方法をしたりする反面、お菓子や糖分の入った飲み物は平気で取っている人を見かけますが、最悪の食習慣であることを自覚して欲しいものです。

飽食時代といわれる現代、食べ物にふり回されない確かな食生活こそが、健康つくりの基盤であることを再認識してみてはいかがでしょうか。

「母乳っ子」では、母乳で育っている赤ちゃんをさがしています。自薦、他薦をお待ちしています。（広報係）

戸籍だより

(%21~10/20届出・敬称略)



お誕生 おめでとう

%18 大場 望 < 隆里美・長女 > 山崎
%21 阿部 喜之 < 盛喜・長男 > 十二ノ前
%22 遠藤 綾 < 辰雄・長女 > 野田
%25 佐藤志津江 < 幹夫・二女 > 黒瀬



ご結婚 おめでとう

10/5 小松 俊司 湯出野
八嶋 俊子 黒瀬
10/5 阿部 勇 十二ノ前
斎藤貴美子 西目町



ごめい福を お祈りします

10/8 小野リエ子(58 昭一郎・妻) 上里
10/9 鍵谷 菊松(56 ヒデ子・夫) 大琴
10/11 高橋富太郎(83 カヨ・夫) 館西

編集室から

▶ 今月はビデオの作成、町勢要覧写真撮影など広報紙編集以外の仕事が多く、12ページです。▶ 「あきたこまち」PR用のプロモーションビデオとパンフレットを作成しました。どちらも大都市の問屋向けですが、パンフレットは縁故米を送るときなどに同封すれば、より一層のPR効果が出ると思います。ぜひご利用ください。▶ 最近うれしいことは「ヤングレポート」の人選に悩まなくてすむこと。これまで人ずてに“ヤング”を捜し回ったり、しまいには断わられたりで、時間のロスもさることながら気落ちさえも…。このところ積極的な自薦、他薦でうれしい悲鳴です。(小野)

町長面会日
今日は
20日

郷土の野草



カナムグラ (クワ科)

③

町内の原野、路傍、荒れ地などに繁茂する一年性の蔓性の草で、始末におえない程の繁殖力、成長力があって他の植物にまつわりついでいます。葉の長い柄や蔓にはギザギザの刺状の鉤があり、着物についたり、皮膚を露出していて蔓にこすったりすると傷がつきます。葉は緑色で対生し、ふつう5~7片の掌状で、よくアマチャヅルと間違われます。金づちやナタなどの鉄製品を私たちは“カナモノ”といいますが、この草の和名のカナは鉄を意味し、ムグラは方々にもぐってのびるという意味で、この草の蔓は鉄のように強靭だということからいわれます。薬効もあって乾燥した全草10~15gを1.5合の水で半量に煎じて1日数回服用すると利尿、解熱に効果があり、また、卵2個ぐらいにぎった量をアルミホイルで包んで黒焼きにして食酢でねり、はれものの解毒に利用するといいます。(小松忠正)

17日	15日	13日	18日	13日	11日	6日	4日	3日	1日	1日	2日	・産業文化祭(健康)
・育児学級(乳児・有鄰館)	・母と子の読書教室(公民館)	・ことぶき大学(東由利中)	・(高瀬小)(永慶保育園)	・(八塩小)	・町功労者表彰式(有鄰館)	・増進センターほか	・インフルエンザ予防接種	・(八塩小)	・新入学児童健康診断(有	・新入学児童健康診断(有	午前9時30分~	
館前9時30分~)	午前9時30分~)	午前9時30分~)	午前9時30分~)	午前9時30分~)	午前9時30分~)	午前9時30分~)	午前9時30分~)	午前9時30分~)	午前9時30分~)	午前9時30分~)	午前9時30分~)	
30日	27日	27日	25日	24日	20日	午前9時30分~	午前9時30分~	午前9時30分~	午前9時30分~	午前9時30分~	午前9時30分~	
納期限	・農業委員会(役場)	・後1時30分~	・三混予防接種(有鄰館午)	・1歳半児健診(有鄰館午)	・新入児童保健所(有							
農業委員会(役場)					・新入児童保健所(有							
国民健康保険税第3期分												

町のミニ統計 10月 (%1~%30)

- ・人口()は前月比()は1月から累計
 - ・男 2,987人(△4)
 - ・女 3,087人(△8)
 - ・計 6,074人(△12)
- ・世帯数 1,450世帯(△3)
- ・火災発生件数 0件(3)
- ・救急車出動件数 11件(74)
- ・ゴミ処理量 34t(322)
- ・健康増進センター利用者数 2,413人(6,805)
- ・町営テニスコート利用者数 132人(2,419)
- ・有鄰館利用者数 1,371人(10,688)
- ・朋楽荘利用者数 632人(5,838)
- ・交通事故発生件数 0件(11)
 - ・死者 0人(0)
 - ・傷者 0人(14)
- ・飲酒運転違反者 0人(2)